

防衛省が認めました、やっぱり、ミサイル車両は島中に展開します!!



(2018年11月22日 FB ページに投稿)

防衛省が、ミサイル車両の島内展開を、石垣島でははじめて、認めました。

今朝 (2018年11月22日) の八重山毎日新聞記事です。



防衛局
部隊展開「適切な場所に」

反対住民不参加 陸自計画で4地区説明会

石垣市平得大保への陸上自衛隊配備計画めぐり、防衛省沖縄防衛局は21日夜、開南・松茂登・嵩田・川原の周辺4地区住民を対象に市健康福祉センターで説明会を開いた。反対住民が「既成事実づくり」として参加を拒否したため、出席者は住民ら11人にとどまった。防衛局は、有事の際の地対艦・地对空誘導弾部隊の展開について「島内の適切な場所」と説明した。29日には全市民を対象にした説明会を市民館ホールで開く。

駐屯地や市街地に宿舍予定

中継防衛局から4人、防衛省が「実際はどうか」と問われ、衛官から3人が説明員として出席。「誘導弾は移動式の車両なので、反対派は島中を走り回ると言っているが、実際はどうか」と問われて、「島内の適切な位置に配備して対処していくことになる」と答えた。

巨港地对空誘導弾部隊▽施設配置案・概要に加え▽環境への配慮▽宿舍の整備▽地域への貢献について説明した。

隊員の宿舍として駐屯地周辺に約30戸、市街地に約170戸の集合住宅を建設する計画を明らかにした。

フロアから「大本小学校は児童が少ないので増やしたい。小学生のいる隊員が近くに來てくれるとありがたい」との要請を受け、「当然われわれとしても考慮して検討を進めるべき」と思う。宿舍の場所については市の意見もろがって検討したい」と答えた。

▽わが国を取り巻く安全環境▽陸上自衛隊の整備配置▽陸上自衛隊の整備配置▽陸上自衛隊の整備配置

隊、地对空誘導弾部隊、中

な位置に配備して対処していくことになる。市街地や住宅の隣などに配備することはない」と回答した。

駐屯地内の発射台の場所については車両の置き場所については決定していないと述べるとどまった。

防衛局は質疑に先立ち、隊員を確保し安全確保

隊、地对空誘導弾部隊、中

集まった住民らに、平得大保への陸自配備について説明する防衛省沖縄防衛局の担当衛官(左)から21日、石垣市健康福祉センター集議棟第1ホール

昨 21 日に 4 地区住民の反対を押し切って防衛省が開いた「住民説明会」でのことです。

出席者から、「誘導弾は移動式の車両なので、反対派は島中を走り回ると言っているが、実際はどうか」と問われて、「島内の適切な位置に配備して対処していくことになる」と答えたのです。

質問した方も、「えっ、やっぱり?!」と驚いたことでしょう。

そうなのです。島中の「適切な場所」が、発射地点になります。だから、有事に地対艦ミサイルを潰そうと飛んで来る相手のミサイルは、島中を襲います。

「市街地や住宅の隣などに配備することはない」なんて、全く余計なセリフです。「何をするかわからない邪悪な敵国」は、そう言われれば、「そうか、いないと見せかけて市街地から撃つつもりだな」と考えるだけでしょうから。

3月市議会で、「ミサイル車両が島中に行くというのは真っ赤なウソ」と演説した仲間均さん

<http://loveishigaki.jp/…/FBp…/MissileVehiclesInIshigaki.html>

をはじめ、保守系与党市議の皆さん、配備に「期待」しておられるみなさん、本当に、島中が標的になりますよ。それでも受け入れますか？